

プログラム名 (40字以内)	森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー		
団体名/所属	大学院農学生命科学研究科附属演習林 北海道演習林		
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	4人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2025/8月～2026/3月 数日～2カ月(応相談) 通常は1～2週間程度が多い	主な活動予定場所	附属演習林北海道演習林(北海道富良野市)
プログラム実施の目的	各種の実務的な森林フィールド調査を体験することで、生の森林に触れ、森林と人間・社会との関係や持続可能な未来について実体験をもとに考える機会を提供する。		
具体的な内容(800字程度)	附属演習林北海道演習林では、木材生産(経済的機能)と環境保全(公益的機能)とを両立させつつ両者を増進させ、多様な生態系サービスを持続的に提供することを通じて社会に貢献する順応的な森林管理技術を考究し、半世紀以上にわたって事業的規模の森林経営実験を継続しながら検証と改良を加え続けている。 本体験活動では、北海道演習林の針広混交天然林を対象として、北海道演習林で実行している持続可能な森林管理を実践する上で不可欠な以下の森林調査(フィールドワーク)に従事する。一過性の非日常的な体験としてではなく、日常として濃密に森林調査に携わることで、より深い実体験とすることを目指す。 ・自然状態の森林生態系の動態を大面積かつ長期にわたって詳細に追跡・観測する研究サイトにおける生態学的調査・測定。 ・木材生産を行う経営林における、林種の区分と各林種面積算定のための森林測量、および資源量の現地調査。 ・小型無人航空機を用いた森林リモートセンシングと、センシング結果に基づく森林資源量の推定。 ・上記の収集データに基づくGISを用いた図面作成、ならびに当該経営林における森林管理計画の立案・作成。 ・森林管理計画に基づく収穫木の選定と収穫量の調査。 ・収穫した林産物の規格・形質調査に基づく品等評価。 ・様々な林域の多様な林相の森林に設置されている永久サンプリングプロットにおける、木材生産に伴う森林構造と資源量の推移をモニタリングするための調査・測定。 ※活動時期によって体験できる調査内容は異なります		
【総額】参加するための費用	東京～富良野(航空機利用):往復30,000～50,000円程度(時期によって変動します)		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	洗濯費のみ:4泊以内700円、5泊以上1,400円		
【内訳】参加するための費用(交通費)	JR富良野駅集合のため、富良野までの交通費は各自負担。東京～富良野は航空機		
【内訳】参加するための費用(その他)	自炊宿舎のため、食費は各自で実費負担 日数×2,000円程度		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	・期間中の滞在には、北海道演習林の宿泊施設(自炊型、インターネットあり)を利用可能。 ・宿泊施設には、タオル等はない。自炊のための調理道具・皿等はあるが、調味料等はない。 ・基本的な1日の活動の流れ: 朝、ミーティングの後、8時半過ぎに事務所を出発して現場(山)に向かい、終日林内で調査等の作業を行う。夕方16時頃に事務所に戻る(適宜休憩あり)。その後、17時頃まで室内作業や振り返りを行う。 ・トイレがない林内で1日活動することも多いので、その点は承知の上で参加すること。 ・土日、祝日は自由行動。 ・北海道演習林の事務所・宿泊施設のもよりのバス停は「山部」。JR根室本線の「山部駅」を含む区間は、2024年3月をもって廃線となったので注意。		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	https://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/files/gaiyo_hokkaido.pdf		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/hokuen/		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		